



北欧各国に在住のレポーターから、
最旬の北欧情報をお届けします。
今回のテーマは「北欧の素敵なカフェ」。
現地の空気感あふれるショップをご紹介します！
photographs_Chikako Harada <p82>, Asaki Abumi <p83>
text_Sachiko Kutuke <p82>, Asaki Abumi <p83>



みずみずしい大きな窓が目印の おしゃれな街の看板カフェ

1 フィンランドらしい白が基調の明るいインテリア。ロフトにつながる階段と、うす暗い地下階につながる階段が作り出す空間の組み合わせが魅力的。 2 プリオッシュがキャラメルソースとラズベリージャムを包む IPI オリジナルのシナモンロール。 3 店長のイオアニス・ヒモナスさん (左) と IPI で働く障がい者のワークショップ担当のマリヤ・ヴィスティ・コスネンさん (右)。 4 ビュッフエはスープ (7,90 €) かサラダ (8,70 €)、もしくはスープ&サラダ (10,10 €) の

中から選べます。新鮮なサラダは種類も豊富でどれも美味！ 5 バタフライチェアが主役の2階のロフト。植物がみずみずしく、北欧らしい色の家具も心地いい。 6 陽光がたっぷり差し込む大きな窓はフィンランド人の理想。外から見える美しく心地よさそうな空間に誘われ思わず入ってしまうカフェです。 7 おなじみのベリーのスクエアケーキやにんじんケーキも、IPI 流のアレンジでセンス良く華やかに。

SHOPDATA

IPI Kulmakuppila (イピ・クルクマクピラ)

HP : <http://ipikulmakuppila.fi/en/>
FB : <https://www.facebook.com/ipikulmakuppila>
〒 Porthaninkatu 13 HELSINKI
☎ +358 45 6164776
🕒 月～金 8:00-20:00 土 10:00-17:00
ランチタイム：月～金 11:00-14:00
土曜日のランチは 11:00-15:00

あつという間にヘルシンキっ子を魅了したカフェの秘密

2015年夏にオープンした IPI Kulmakuppila (イピ・クルクマクピラ) は、オシャレなヘルシンキっ子が通うカッリオ地区で話題のカフェです。人気の秘密は、大きなガラス窓と白くて美しいインテリア。ヘルシンキを拠点に多くの魅力的な空間を手がけるデザイナー、ベトラ・マヤンティエが、レンガや木材など様々なテクスチャーを取り入れ、天井や照明の高さで絶妙に演出した空間は、ゆったりくつろぐお客さんでいっぱい。さらにこのカフェを優しくしているのは、健常者と一緒に関わりあっている者のスタッフ達。カフェを愛する彼らの真摯な働きに、心が温まります。メニューももちろん、彩りよく味わい深く、ヘルシーな逸品がずらり。トナカイ味のチョコなど、冒険心をそそるものも！ カフェの名前は「イピ」と愛称で呼ぶのが通。一度来たら、誰もが愛してしまうカフェです。



北欧ヴィンテージが買える オスロの可愛いレトロカフェ



1 北欧食器やデザイン好きにはたまらないインテリアと商品の品ぞろえ！雑誌やテレビ番組の撮影場所としても人気急上昇中。 2 地元の常連客で溢れる店内。商品は全て購入可能。 3 ユニークなカフェやヴィンテージショップが点在するエリア。地元の雰囲気を楽しみながら、気になったお店にどんどん入るのが楽しい。カフェは写真の看板が目印。 4 キャサリンホルムのロータス柄の器は 900 ~ 1000 NOK。笑顔がかわいい鍋つかみは、店長のドイツ人の友人が手編

みしたもの。1個 250 NOK。 5 ワッフル (35 NOK) は、ノルウェーの家庭で定番のおやつ。ハート型が連なって、クローバーの形に。 6 店長はお客さんのおしゃべりが大好き！ 7 男性客にも人気。読書をしたり、パソコンで仕事をする人が多いとか。手前のチーク素材のブラウンのチェストはノルウェーの Talgo (タルゴ) 社製。950 NOK でしたが、撮影後にすぐに売り切れたよう。

SHOPDATA

Retrolykke kaffebar (レトロリッケ・カフェバー)

HP: <https://www.facebook.com/retrolykkekaffebar/timeline>
 ㊚ Markveien 33, 0554 Oslo
 ☎ +47 902 83 819
 ㊚月~金 10:00-18:00
 土・日 11:00-18:00

「レトロがある幸せな生活」に、一歩近づけるヒントがここには溢れています。

旅人に人気があるノルウェーの食器は、キャサリンホルムのロータス柄、フィッギョのトゥーリデザイン、スタヴァアンゲルプリント。他にスウェーデンやフィンランド産も好評。店長が推奨する

モノを修理して再利用する祖母の後ろ姿をみて育ったという店長。「私の家は古いモノばかりで、新品商品はカベットくらい。これからもっとこのスタイルは流行るだろうと、彼女は予言する。「流行は、デンマークからノルウェーにくるからね。今デンマークでのヴィンテージ熱はすごいわよ!」。

オスロのグリーネルロッカ地区に、北欧好きの旅人を癒してくれるカフェがあります。レトロリッケ・カフェバーには店長トニーエさんが収集してきた50~70年代の北欧食器や家具のヴィンテージがずらり。お茶をしながら、ゆっくりとお土産探しを楽しみます。

「どれを買おうかな?」
お茶をしながら迷う楽しさ